令和６年度　衆議院海外派遣　計画書

令和６年６月２６日

衆議院欧州諸国外交・政治経済事情等調査議員団
団　長　勝俣　孝明

１．団名
　衆議院欧州諸国外交・政治経済事情等調査議員団

２．目的
　欧州諸国における外交・政治経済事情等調査のため

３．派遣議員団

団　長　外務委員会　委員長　勝俣　　孝明（自民）
　　外務委員会　理　事　城内　　実（自民）
　　同　　理　事　源馬　謙太郎（立憲）
　　同　　理　事　藤井　比早之（自民）

同　行　衆議院外務調査室次席調査員　大内　　亘

４．派遣期間
　令和６年７月３日（水）から１２日（金）までの１０日間

５．派遣国
　アルバニア、トルコ、ギリシャ

６．主な調査内容
（１）議員間の信頼関係構築・継続等に向けた事情調査
　議員外交は、国益を代表する政府外交とは異なり、選挙で選ばれたという共通の背景を有する政治家同士が顔と顔を合わせて個人として意見交換を行い、互いの信頼関係を構築・継続するものである。派遣議員団と同様に当該国で外務委員会に属する議員や我が国と当該国との友好議連に属する議

員、外交を担う政務担当者を表敬し、互いの信頼関係構築・継続を図る。

（２）我が国の外交成果の確認等に向けた事情調査

これまで実施してきた政府開発援助（ＯＤＡ）等の我が国の外交の成果を確認するとともに、我が国の国際社会における立場や文化、歴史等についての当該国における理解を促進する。

（３）地政学的競争の激化・国際社会の多様化への対応

２０２２年２月に開始されたロシアによるウクライナ侵略をはじめとして、既存の国際秩序が脅かされ、地政学的な競争が激化している。さらに、「グローバル・サウス」と呼ばれる途上国・新興国の存在感の高まりにより国際社会の多様化が進む一方、国境や価値観を超えて対応すべき課題が山積しており、互いの国の方針や立場について理解を深める。

(A)　アルバニア

①　（１）、（２）及び（３）について調査するため、エディ・ラマ首相を表敬し、意見交換を行う。

②　（１）、（２）及び（３）について調査するため、イグリ・ハサニ欧州・外務大臣を表敬し、意見交換を行う。

③　（１）、（２）及び（３）について調査するため、アルバニア国会・外務委員長を表敬し、意見交換を行う。

④　（１）及び（２）について調査するため、ティラナ市長を表敬し、意見交換を行う。

⑤　（２）について調査するため、ティラナ工科大学等を視察する。

(B)　トルコ

①　（１）、（２）及び（３）について調査するため、トルコ国会・外務委員長を表敬し、意見交換を行う。

②　（１）、（２）及び（３）について調査するため、日・トルコ友好議連会長を表敬し、意見交換を行う。

③　（２）について調査するため、ボスポラス第２大橋等の視察を実施する。

(C)　ギリシャ

①　（１）、（２）及び（３）について調査するため、ギリシャ国会・国防外務委員会を表敬し、意見交換を行う。

② （１）、（２）及び（３）について調査するため、日・ギリシャ友好議連を表敬し、意見交換を行う。
③ （１）、（２）及び（３）について調査するため、ギリシャ外務副大臣を表敬し、意見交換を行う。
④ （２）について調査するため、在ギリシャ日本人会との意見交換を行う。

７．派遣日程（別添）

（別添）航空便等の行程の詳細については、掲載を省略している。

（注）派遣計画書は事情により、内容に変更が生じる場合があります。詳細な内容については帰国後に作成・掲載される報告書概要、報告書を御参照ください。